




NEDO Challenge

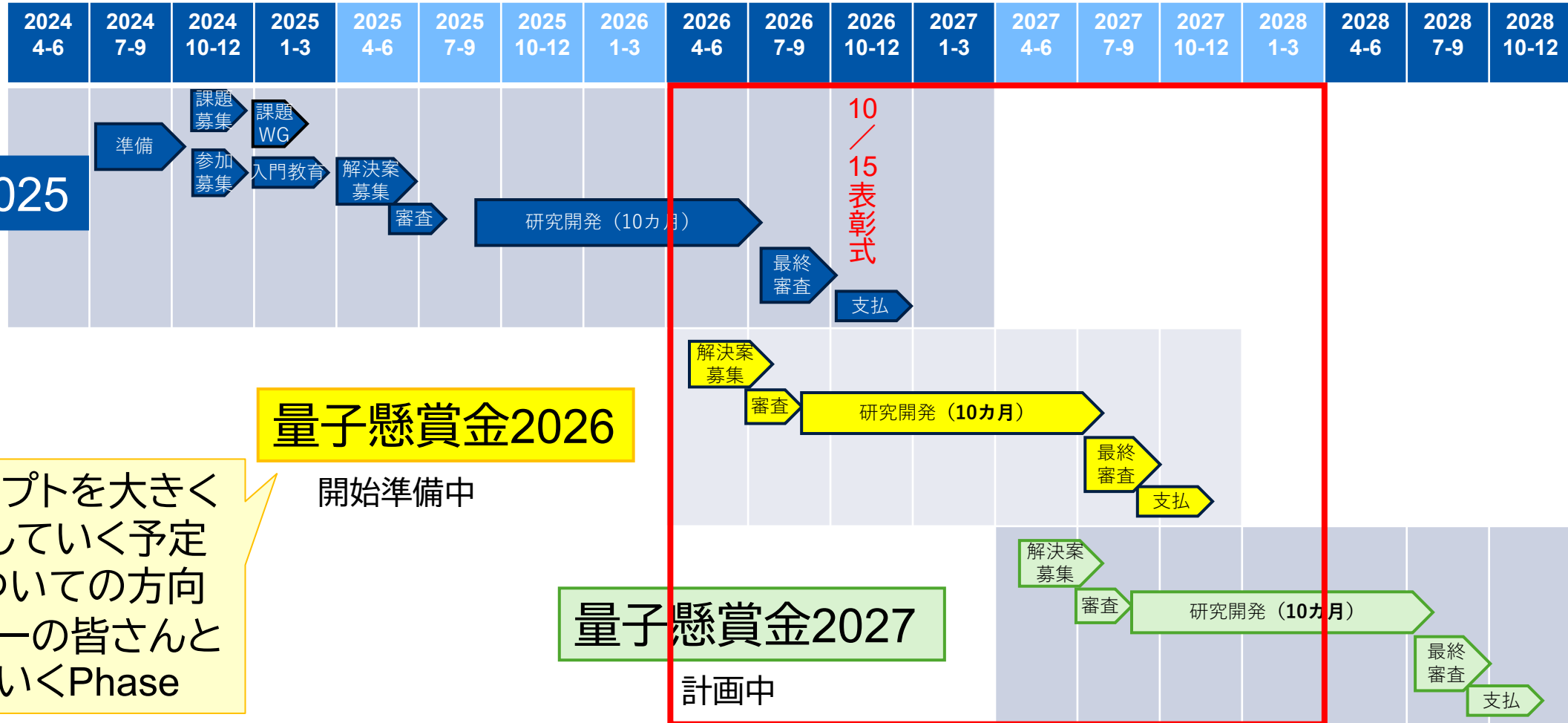
Quantum Computing  "Solve Social Issues!"

「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／
量子コンピュータユースケース開発における
研究・実証の進め方に関する調査」の公募について

2026年3月

NEDO Challenge, Quantum Computing "Solve Social Issues!" 事務局

量子懸賞金事業 全体スケジュール



量子懸賞金2025

今走ってます

量子懸賞金2026

開始準備中

量子懸賞金2027

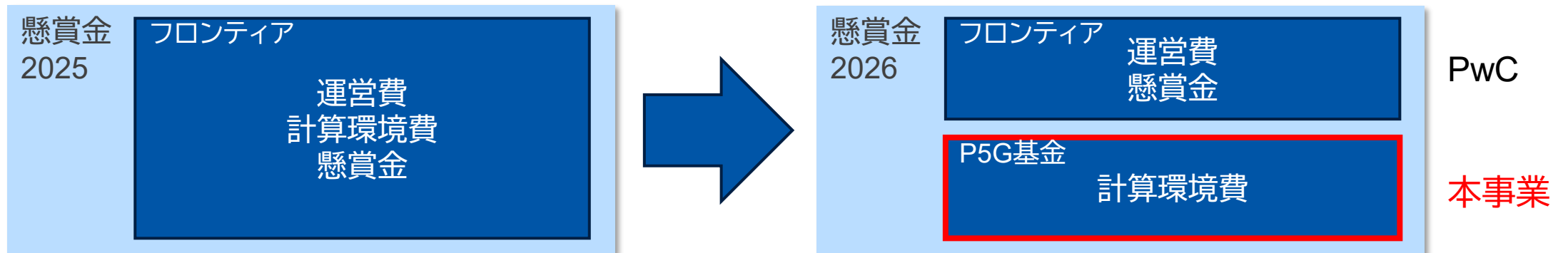
計画中

- 2026はコンセプトを大きく変えず、実施していく予定
- 2027以降についての方向性をスポンサーの皆さんと擦り合わせていくPhase

環境提供事業の対象期間

量子懸賞金2026現状

- 無償環境提供については交付金ではなくP5G基金から実施(本事業)
- 量子懸賞金2025の参加者の環境継続利用について手続きを検討中



環境提供事業概要

- 事業期間：2026年度～2027年度
- 事業規模：3億円
- 採択事業者1者

事業内容の想定

- 計算環境の提供
 - 量子懸賞金2025、量子懸賞金2026を想定。2027もありえなくはない
 - 2年間を通じ、最新の量子計算環境(HPCとのハイブリッド含む)を100チーム程度に提供できる体制を整える
 - 計算環境の提供に加え、ハンズオンなどの機会も提供する
- 上記、環境提供を通じて下記の調査を実施
 - 利用者の想定する課題への量子コンピュータの適用に対し、適切な量子アルゴリズムおよび量子コンピュータの選択を行うための調査
 - 多様なレベルの参加者に対して限られた計算資源を適切に振り分けるための調査
 - 個人による公的計算資源の利用等に関する調査
 - 上記の限りではなく、独自の課題観点と提案も歓迎

応募方法 提出期限: 4/21(火) 正午まで

- ・ J グランツ公募ページから申請を行います
- ・ 提出書類一覧

| 提出書類 |
|---|
| 提案書（表紙、本文）（詳細は別添 1） |
| 提案者情報（詳細は別添 2） |
| ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況に（詳細は別添 3） |
| NEDO 事業遂行上に係る情報管理体制の確認票及び対応エビデンス（詳細は別添 4） |
| 会社案内（会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書） |
| 直近の事業報告書 |
| 単体／連結財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書（販売費及び一般管理費明細書を含む））（直近 3 年分） ※なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出や代表者面談を求める場合があります。また、提案者の財務状況によっては、追加的に親子会社、関係会社等や再委託先に対しても財務関連資料の提出を求める場合があります。 法人が設立されたばかりで財務諸表が 3 年分存在しない場合は、設立年度から直近までの財務諸表を提出してください。 |
| 積算用総括表 |
| 株主（社員）資本等変動計算書 ※会社法で定める株式会社、合同会社、合資会社及び合名会社に該当する場合にのみ提出ください。 |
| 提出書類のチェックリスト （該当する場合のみ）当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合は当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料 |

- ・ 全ての書類をzipファイルにまとめて提出します。
- ・ 最新(最後に提出頂いた提案を審査します)

(参考)経産省P5G研究開発計画での記載

- https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/post5g/pdf/20260310_kenkyukaihatsukeikaku.pdf

| | | |
|---|---|----------------|
| <p>量子コンピュータユースケース開発における研究・実証の進め方に関する調査（2026年度～2027年度）</p> | <p>量子コンピュータが有する潜在的計算能力を社会課題解決につなげることを目的とした調査を実施する。 本調査では、今後の量子コンピュータのアプリケーション開発を推進する上でボトルネックとなる課題について整理・分析を行うとともに、先行する海外プレイヤーの取組や成果を収集し、別途実施する懸賞金型事業等と連携しながら、量子コンピュータによる解決が期待されながらもこれまで実装に至っていない多くの社会課題を対象として、実際の量子コンピュータ環境の利用を通じた技術的・運用上のボトルネックを把握することで、新たな量子コンピュータ活用の機会の掘り起こしを行う。</p> | <p>3.0億円以内</p> |
|---|---|----------------|

Q1. 提案書の制限事項はありますか

A1. ワード・パワーポイント等、必要項目が記載されていれば問題ありません。枚数の制限もありませんが、冗長になりすぎないように整理してご提案ください。

Q2. 計画と実績とのブレが期中で出てきた場合にはどうなるでしょうか

A2. なるべくブレを吸収できるような計画にさせていただく必要があります。100チームを想定していますが、予算に収まる適正なチーム数の想定や環境提供自体の制限(アニーリングの提供上限はXXXチームなど)の形で予算に収めるようにご提案お願いします。期中での新たな使用制限については懸賞金事業運営事業者とも相談が必要になります。

Q3. 懸賞金事業からの参加者情報については懸賞金事業運営事業者から入手することになるでしょうか

A3. 基本的には懸賞金事業運営事業者が参加者の許諾を取って情報提供する、ということを想定していますが、NEDO経由での提供も含め、懸賞金事業運営事業者との連携が必要になります。

Q4. 部分提案について教えてください

A4. あくまで全体提案での1者採択(共同提案を含む)を想定していますが、優れた部分提案であると認められる提案の場合には、全体提案の事業者へのヒアリングも含めて採択審査の場で議論し、条件付き採択とする場合があります。部分提案は、環境提供に関する部分提案(Ex. アニーリング環境のみの提供およびそれに関わる調査の提案など)を想定しています。デスクトップ調査のみの部分提案は想定しておりません。